

北海道 交通事故相次ぐ 2人死亡

[2015/3/2 14:45]

道内では、2日朝、交通事故が相次ぎ、千歳市と岩内町で車を運転していた男性2人が死亡しました。

千歳市の道道258号では午前6時前、千歳方面に向かっていた乗用車が、前から来た大型トラックと正面衝突しました。この事故で乗用車を運転していた69歳の男性が死亡しました。(トラックの運転手)「乗用車が突っ込んできた。スリップだと思う。どうにも避けられなかった」警察はトラックの運転手から事情を聞き、乗用車がスリップしたとみて事故の原因を詳しく調べています。

また岩内町の国道229号にある雷電トンネルでも、寿都から岩内方面に向かっていた乗用車が壁に衝突する事故がありました。この事故で乗用車を運転していた男性(50)が病院に運ばれましたが、死亡しました。

- ・市街地、交差点付近の凍結路面で追突、衝突
- ・慣れにより、路面のすべりやすさを忘れてスリップ
- ・吹雪や渋滞などで、急ぎ、あせり、いらいら
- ・地吹雪など視界不良時の多重事故
- ・交差点付近は、雪山で見通しも悪くなり、出会い頭の衝突や歩行者との事故

「見えない先には、何かがある」

バック時は 降りて確認 乗っても確認

追突、玉突き事故を防ぐ
交差点手前で止まる時は車1台分のスペースを空けて止まる

交差点 「右左確認／よ～し！」

”ほんやり”は、事故のもと、緊張感をもって！

自宅を出る前、会社を出る前、後方確認・周囲の確認

吹雪の国道で車3台の事故1人けが 大空町

2015年3月2日 15時02分

2日昼すぎ、北海道大空町の国道で、車3台が絡む事故があり、男性1人がけがをして病院で手当てを受けました。警察は、吹雪で視界が効かなくなっていたとみて事故の原因を調べています。2日午後1時前、オホーツク海側の道大空町女満別湖南の国道39号線で、吹雪のため路肩に止まっていた乗用車に4トントラックが追突しました。事故の衝撃で、乗用車が車道上に押し出されて身動きが取れなくなっているところに、別の軽乗用車が突っ込んだということです。警察によりますと、この事故で、乗用車を運転していた46歳の男性が顔などに軽いけがをして病院で手当てを受けました。警察は、吹雪で視界が効かなくなっていたとみて、事故の状況や原因を調べています。また、当時、現場の周辺では、ほかにも複数の箇所でも車の立往生が起きましたが、警察によりますと、いずれの車も、その後近くの道の駅などに避難した。

吹雪、視界不良 紋別で都市間バス 吹きだまりに乗り上げ

2015年03月02日 21時36分

2日午後2時5分ごろ、北海道紋別市渚滑(しょこつ)町3の道道で、JRバスの札幌発紋別行き都市間バスが道路左側の吹きだまりに乗り上げ、その衝撃で乗客の男性会社員(29)が腰の骨を折る重傷を負った。他の乗客や運転手(41)にけがはなかった。紋別署によると、当時は吹雪で視界が悪かったという。湧別町でも同様のバス事故があり、乗客1人が負傷した

作業員が転倒、右手骨折＝安全総点検後で初

2015.03.02 19:34

東京電力は2日、福島第1原発で協力企業の60代の男性作業員が転倒し、右手首を骨折したと発表した。作業員は病院に搬送された。第1原発などでは1月に作業中の死亡事故が相次ぎ、東電は一時作業を中断し、安全総点検を実施した。点検後、救急搬送される負傷者が出たのは初めて